

基本情報						
教科・科目	高3 日本史探究			・授業で使用するもの □授業プリント（各自無くさないようにファイリングすること） □教材：教科書（山川出版社『詳説日本史』、帝国書院『図説 日本史通覧』、山川出版社『詳説日本史史料集』）		
担当者	西田 幸乃					
評価割合（試験：試験外）	試験： 6          試験外： 4			□定期テスト①～⑤は100点満点 □試験外評価については、授業で行うアクティビティほか、提出物等で評価する。		
年間を通じて教科で培う力	鍛錬（知識及び技能）			歴史的事象・用語・制度を正確に理解し、時代ごとの特徴や文化の違い、社会構造の変化を的確に把握する力を養う。あわせて、史料や図表、年表などの情報を読み取り、活用する技能を高める。		
	理知（思考力・判断力・表現力等）			歴史的な出来事の背景や因果関係を考察し、複数の視点から時代や社会を比較・分析する力を育てる。問いを立てて調べ、自分なりの根拠をもって説明し、他者に伝える力を高める。		
	探究・叡智（主体的に学習に取り組む態度）			過去の人々の生き方や社会の営みに目を向け、現代とのつながりを意識しながら主体的に学ぶ態度を育てる。多様な価値観や文化に対する理解を深め、他者や社会に対して共感や責任ある行動がとれるよう、自らの在り方や社会との関係を見つめ直す力を養う。		
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4		第9章 幕藩体制の成立と展開	●幕府による支配の安定、経済の発展、元禄文化の広がりを通して、政治・経済・文化の関係と、それぞれの特徴が社会に与えた影響を理解し、説明できるようになることを目的とする。 問いの例：『幕府による秩序の確立 → 経済の拡大 → 町人による文化の成熟』この変化は、『制度による支配』と『経済的活力・文化的表現の広がり』によって特徴づけられるが、なぜ安定した幕政のもとで経済が発展し、町人文化が大きく花開いたのか。秩序と活力の関係に注目して、その特徴と意味を説明せよ。	9-3幕政の安定 9-4経済の発展 9-5元禄文化	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・考えを深める問い	・小課題 ・小テスト
5		第10章 幕藩体制の動揺	●江戸後期の改革と文化、そして幕府の衰退から近代化の始まりまでの流れを通して、支配体制の試行錯誤と社会の変化、それにとまなう文化の特徴を理解し、それぞれの意味を説明できるようになることを目的とする。 問いの例：『改革による幕政の再建 → 社会の変化と庶民文化の広がり → 幕府の限界と近代への転換』この一連の流れは、『旧秩序の維持と変化への対応』という課題に直面する時代であり、なぜ幕府は改革を行ったのか、なぜ庶民文化がさらに発展したのか、そしてなぜ最終的に幕府の体制は崩れていったのか。政治・社会・文化のつながりに注目して、その特徴を説明せよ。	10-1幕政の改革 10-2宝暦・天明期の文化 10-3幕府の衰退と近代への道 10-4化政文化	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・考えを深める問い	・小課題 ・小テスト
6	定期試験① 令和8年 6月3日—6月5日					
6		第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立	●開国による国際環境の変化、幕府の滅亡と新政府の成立、明治維新による諸改革と富国強兵を通して、政治の転換と社会・経済の変化の関係、および近代国家形成の特徴が人々の生活や社会の仕組みに与えた影響を理解し、説明できるようになることを目的とする。 問いの例：『開国による幕藩体制の動揺 → 幕府の滅亡と新政府の発足 → 明治維新と富国強兵』この変化は、『国際社会への編入』と『政治体制の再編』、さらに『近代国家建設の推進』によって特徴づけられるが、なぜ開国は幕府の支配を揺るがし、新政府はどのような改革によって中央集権的な近代国家を形成しようとしたのか。国際環境の変化と国内改革の関係に注目して、その特徴と意味を説明せよ。	11-1開国と幕末の動乱 11-2幕府の滅亡と新政府の発足 12-1明治維新と富国強兵	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・考えを深める問い	・小課題 ・小テスト
7		第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開	●立憲国家の成立、日清・日露戦争と国際関係の展開、第一次世界大戦と日本を通して、近代国家の制度整備と対外関係の変化、およびそれらが社会や人々の意識に与えた影響を理解し、説明できるようになることを目的とする。 問いの例：『立憲国家の成立 → 日清・日露戦争と国際関係 → 第一次世界大戦と日本』この変化は、『憲法体制と議会政治の整備』と『対外戦争を通じた国際的地位の変化』、さらに『世界規模の戦争への参加による社会・経済の変容』によって特徴づけられるが、なぜ日本は立憲国家としての制度を整えながら対外戦争を重ね、第一次世界大戦を契機として国内社会や国際的立場を大きく変化させていったのか。国家体制の整備と対外関係の展開、その影響に注目して、その特徴と意味を説明せよ。	12-2立憲国家の成立 13-2第一次世界大戦と日本 13-1日清・日露戦争と国際関係	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・考えを深める問い	・小課題 ・小テスト
7	定期試験② 令和8年 7月15日—7月17日 範囲)					
8	-					
9		第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活	●ワシントン体制の成立、近代産業の発展、近代文化の発達を通して、国際協調の進展と国内の経済成長、さらに社会の変化を背景とした文化の広がりの関係を理解し、説明できるようになることを目的とする。 問いの例：『ワシントン体制による国際協調 → 近代産業の発展 → 近代文化の発達』この変化は、『国際協調を基調とする外交の展開』と『産業化・都市化の進行』、さらに『大衆社会の成立にとまなう文化の普及と多様化』によって特徴づけられるが、なぜ国際協調の時代のもとで産業が発展し、都市を中心として新しい文化が広がったのか。国際関係の安定と経済成長、文化の大衆化の関係に注目して、その特徴と意味を説明せよ。	13-3ワシントン体制 14-1近代産業の発展 14-2近代文化の発達	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・考えを深める問い	・小課題 ・小テスト
10		第14章 近代の産業と生活 第15章 強硬と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本	●市民生活の変容と大衆文化、恐慌の時代、軍部の台頭を通して、経済や社会の不安定化が人々の生活や意識に与えた影響と、それが政治のあり方に及ぼした変化を理解し、説明できるようになることを目的とする。 問いの例：『市民生活の変容と大衆文化 → 恐慌による社会不安の拡大 → 軍部の台頭』この変化は、『都市化・大衆化による生活文化の変容』と『恐慌による経済的打撃と社会不安の深刻化』、さらに『政党政治の動揺と軍部の発言力の増大』によって特徴づけられるが、なぜ大衆社会の進展によって新しい生活文化が広がる一方で、経済危機は社会と政治を不安定にし、軍部の台頭を招くことになったのか。市民生活の変化と経済不安、政治の変質の関係に注目して、その特徴と意味を説明せよ。	14-3市民生活の変容と大衆文化 15-1恐慌の時代 15-2軍部の台頭 15-3第二次世界大戦 16-1占領と改革 16-2冷戦の開始と講話	・講義 ・個人ワーク ・ディスカッション ・考えを深める問い	・小課題 ・小テスト
11	演習					
12	演習					